陽北

［校訓］　聡く　強く　美しく
そして、陽北中生としての誇りをもつ

第５号

＜目指す生徒像＞
○ 自ら考え、主体的に学ぶ生徒
○ 活気に満ちた、たくましい生徒
○ 心豊かで、思いやりのある生徒

学校だより　令和８年９月３０日
宇都宮市立陽北中学校長　大場賢治

朝晩の寒暖差が徐々に大きくなり、季節は秋へと向かっています。学校では、生徒たちが「実りの秋」にふさわしく、毎日の学校生活を充実したものとなるよう取り組んでいます。生徒一人一人が大きな実を結ぶよう願っています。

さて、この時期は１学期の締めくくりとなる大切な時期です。学校においては、１学期の成長を振り返りながら、自分のよさをさらに伸ばせるよう指導・支援をしていきたいと考えています。御家庭におかれましても、10 月からの２学期へ向けて、新たな一歩が踏み出せるように、お子さまへの励ましをお願いいたします。

宮っ子チャレンジウィーク

９月８日（火）～11 日（金）の４日間、社会体験学習である「宮っ子チャレンジウィーク」を行いました。初日となるはずの７日（月）は、大雨により休校となってしまい、体験学習が１日減ってしまいましたが、貴重な体験ができました。今年度は、67 事業所のご協力をいただき、実施することができました。生徒たちは、４月から入念な準備を行い、自分たちで事業所に電話連絡をして事前訪問の日時を決定し、訪問をして打合せを行うなど、積極的に取り組んできました。

実際の活動では、それぞれの事業所で働く大人たちとの出会いをきっかけに、働くことの素晴らしさを実感しながら仲間と協力して一生懸命に取り組みました。「宮っ子チャレンジウィーク」について生徒たちは、「働いている人たちにしか見えない大変さを知ることができてよかった。」「最初は疲れたが、仕事のコツをつかむと楽しくなってきた。」「１日だけでも疲れるのに、これをずっと続けていると思うと尊敬する。」など、感想を述べていました。この体験を通して、生徒たちは自分の可能性を発見し、将来の夢に向かって一歩踏み出す勇気を得たのではないでしょうか。「宮っ子チャレンジウィーク」を終えて、生徒たちは、少し頼もしくなった気がします。体験後は、事業所の方々へのお礼状の作成や個人用 PC を使用してまとめを行っています。地域の事業所の方々には、大変お世話になりました。








陽北よさこい連　躍動



今年も「陽北よさこい連」が躍動しました。今年度は、メインの８月２日（日）「宮まつり」に加え、地域行事である７月 25 日（土）「豊南小盆踊り大会」、９月６日（日）「塙田睦会 50 周年記念行事」にも積極的に参加しました。「宮まつり」では、大通りで鳴子の音を響き渡らせ、躍動感あふれる踊りを披露し、沿道の観客に感動を与えました。また、地域行事の「盆踊り」や「50 周年記念行事」では、多くの観客に囲まれる中、自信をもって堂々と見事に踊りました。踊り終えた生徒たちの表情は、とても清々しく、充実感で一杯でした。会場にいた卒業生が「一緒に踊りたい。」と話していたのが印象的です。

改めて、生徒、先生、保護者、PTA、地域が一体となって良き伝統は引き継がれていくことを実感いたしました。御協力くださった皆さま、本当にありがとうございました。






新人大会・各種コンクール　始まる

９月に入り、運動部の新人大会、文化部の各種コンクールが始まりました。運動部は、夏の大会の後、新体制になって練習を積んできた成果を発揮しました。また、文化部は夏の大会の後、更に技術に磨きをかけてきたことを披露しました。いくつかの会場に応援に行き、生徒たちの素晴らしい活躍を目の当たりにすることができました。結果を出せた部、思うようにならなかった部と様々ですが、本校生徒は、最後まであきらめずに取り組み、声を掛け合い、一体となって頑張っていました。とても素晴らしいと思います。これから県大会も始まりますが、本校生徒として力を発揮してくれることを願います。





日々雑感

学校には、日々、多くの来客が訪れます。そのようなお客様からお礼のメールをいただきましたので、以下に紹介します。

「先日、学校を訪れ、帰る際に、一人の生徒が正門付近にいました。当日は雨が降っていました。車で訪問していた私に配慮してくれて、門の開閉を行ってくれました。おかげで私は雨に濡れずにすみました。陽北中の生徒さんの気遣いがありがたく、メールさせていただきました。」

このメールを受け取り、うれしくなり、早速、職員に紹介しました。生徒の心が「美しく」育っていると感じると同時に、勇気をもって行動するという強さも身に付いており、頼もしく思います。